

図書館長・教授
木村 政伸

■ 学歴

1. 九州大学大学院教育学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得後退学

■ 学位

1. 博士（教育学）

■ 研究分野

1. 近世教育史
2. 近代学校史
- 3.

■ 研究キーワード

1. 識字教育
2. 文字社会
- 3.

■ 研究課題

1. 近世社会における文字学習の社会史的研究
2. 明治初期小学校の教育課程

■ 担当授業科目

1. 教育原理
2. 教職概論
3. 教育課程論
4. 教育方法論
5. 養護実習事前事後指導
6. 教職実践演習
7. 看護総合演習
8. 初年次セミナー I
9. 初年次セミナー II
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1. | 授業科目名【教育原理・教職概論・教育課程論・教育方法論】 |
| | ・毎回の授業の感想を書いてもらい、その内容を次回にフィードバックした。 |

	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの視聴覚教材を準備し、授業にリアリティを持たせるようにした。 ・おおよそ半分の授業でグループワークを実施し、その成果を報告書として提出するようにした。 ・グループワークでのデータや意見の集約方法について指導し、報告書も箇条書きではなく図解するように求めることで理解を深めるようにした。 ・視聴覚教材やグループワークの成果を事前にクラスルームを通じて提示し、それを予習してくることを前提とした反転授業を複数回実施した。
2.	<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ・Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの書き方について、段落分け、接続詞などに注意をして、論理的な文章を書けるように指導した。 ・多様な個性が集うことで新しい視野が広がるように、グループワークを広く取り入れた。特にⅡの最初の授業では複数学科混成の授業を行い、多様な学生が集えるように工夫した。
3.	<p>授業科目名【看護総合演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の学生の興味や関心を基本的な問いから始めることにより、より深く広い視野から課題に取り組めるように努めた。とりわけ、発達障害についての認識に関して、日本社会の常識にとらわれることのないように、歴史的経緯、国際的動向に留意して指導を進めた。
4.	<p>授業科目名【 】</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1981年	教育史学会	理事（～2025年）
2.	1981年	九州教育学会	会長（～2023年11月）
3.	1981年	全国地方教育史学会	幹事（～2025年）
4.	1987年	日本教育学会	理事（～2023年8月）

■ 研究業績等に関する事項（2024年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					

(学術論文)					
1.	2024.9.30	公立夜間中学校の開設と求められる教員の資質	単著	西南女学院大学、教職論集、第3号	2024年度に九州(沖縄を除く)に新たに5校の公立夜間中学校が設置され、新しいステージに夜間中学校は入った。それに伴って起こってきた様々な課題に対して、教員としてどのような資質が求められているのかを論じた。
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者()内は学外者	交付決定額 (単位:円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	なし	自主夜間中学・福岡よみかき教	代表

		室	
2.	～2024 年度	日田市	咸宜園教育センター専門委員
3.	～2024 年度	備前市	教育遺産世界遺産登録推進協議 会専門委員

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024・25 年度		図書館長
2.	2022 年度～現在	教職課程委員会	委員長
3.			